

ほ

「ほ行」の天草方言 「天草方言集 鶴田 功著」

ほいから《京》 ほいせん ほしてから それから
 ほいけん ほいしえな ほ一せな それだから だから
 ほいつあー それは ②その奴は《佐伊津》[そ]の転音
 ほいっぴゃ ほいっぺー ほういっぴゃ【精一杯】 思う存分
 ほいで《京》 ほっで ほれーで それだから だから
 ほう ほりゃ ほら 「あつたい、ほう・ほりゃ、来たたい」
 ぼー ぼーだ 食べよう（幼児語） 「飯ぼーだ」《高浜》
 …ぼー …だぞ …だよ …ですよ …なのよ 「あつとぼー」
 ほうがいむのう ほうがいものう 法外もなく 並外れて
 ほうがいもなか 法外だ 並外れている
 ほうがくもなか 途方もない とんでもない
 ほうくる ほうける【惚ける】 夢中になる《日ポ・京》
 ほうげた ほうべた ほっぺた【頬】cheek
 ぼうじーなる 頭を丸める 坊主頭になる 丸刈りする
 ほうしてから ほうしてかる そうしてから
 ほうじゃ〈海蝨〉 ウミニナ科ウミニナ 尻の尖った蝨にな
 ほうじゃじご 出っ尻 尖った尻
 ほうじゃろう ほうだろ そうだろ
 ぼうじょ 魚（幼児語）《御領》
 ほうしょうがみ ほうしょうがみ【奉書紙】 儀式用の上質和紙
 ホース 《オランダ語》hoos ゴムやビニール製の管
 ぼうず【坊主】 僧侶 ②男児 男子の丸刈り ③釣果無し
 ぼうずがり〈坊主刈〉 植木を丸く刈り込む 丸刈り
 ぼーすと ぼすと 突然 suddenly 急に 不意に
 ほうずもなか【方図】limit 途方もない 限り 際限 範囲
 ほうするぎっ ほうするぎり ほうするぎりゃ そうするなら
 ほうせんか ほっでか そうだから
 ほうた【這った】 腹這いになる
 ほうちさるく ほうっさるく ほうてさるく 這い回る
 ほうっとする ほっとする〔擬態音〕オノマトペ 安心する 安堵する
 ほうっとする〔擬態音〕オノマトペ ぼんやりする ②霞んで見える
 ほうとうづく【放蕩】ほうとう 遊んで仕事をしない 道楽する
 ほうばる【頬張る】 口いっぱい食べ物に詰め込む《京》
 ほうびゃ ほびゃ【朋輩／傍輩】ほうふら 友達 親友 同僚
 ぼうふら ぼうふり【子子】 蚊の幼虫
ボウブラ 《ポルトガル語》abobora ウリ科の野菜
 ほうほうなめにあう 〈這う這う〉 ひどい目に遭う

ほうめん【方面】《ペルシャ語》 方角 **direction** ②分野 部門
ぼうもりさま〈坊守様〉 真宗寺でお坊さんの奥様の呼称
ほうらつか 古語【放埒】 勝手気まま だらしない《日ポ》
ほうりやる 放り遣る 投げ捨てる 振りほどく
ボーロ 《ポルトガル語》 **bolo** 菓子
ほえかかる (犬が) 吠えて跳びかかる《日ポ》
ほえづらかく【吠え面】 泣き顔をする
ぼおっつあま ぼんさん【お坊さん】
ほおっつらかす ほおりつらかす【放り散らす】
ぽか 失敗 **failure** 不手際 失策 **error** どじ へま
ほがしこ ほぎゃしこ ほげしこ ほしこ それだけ
ほかす 捨てる 廃棄する《京》
ほがす 《ポルトガル語》 孔を開ける 穴を掘る 穿つ **dig**《日ポ》
ほかほか ほくほく 嬉しい様 ②水分が少なく柔くて温かい食べ物
ほがん ほぎゃん ほげん《佐伊津 五和》 そんなに
ほがんかなー ほぎゃんかな ほげんかな そうですか
ほかんし ほかんもん〈他の人〉 第三者 関係のない人
ほがんじゃか ほげんじゃか そうではない
ほがんすれば ほがんせろば そうすれば
ほがんと ほげんと《佐伊津 五和》 そんな物
ぽかんと〔擬態音〕 ぼんやり きょとんと ②穴が開く
ほかんにわ〈外庭〉 庭 **garden** ②穀物干場
ほき 古語【箒】 箒 **broom** (長音短呼)《竜ヶ岳》
ほきゃー ほけー【他に】 他所に
ほぎゃーて ほげーて 穴を開けて 穿って
ほくそえむ ほくそわりゃー【北叟笑む】 してやったりと笑う
ほくそに 無闇に 矢鱈に **at random** 大層に
ぼくと ぼくとう【木刀】 木剣 棒 **pole**
ほくほく ぼくぼく 嬉しい様 ②柔くて温かい食べ物
ほくら 古語【神庫】 祠 石祠 小さな社
ほぐる《日ポ》 ほげる 穴が開く 通りが良くなる
ぼくる【惚ける】 **absorbed**
ほけ〈湯気〉 **steam** 水蒸気 ②惚け《日ポ・京》
ほけ ぼけ【惚け 呆け】 耄碌 気が利かない《京》
ぼけーっとしとんな ぼさーっとしとんな ぼんやりするな
ほけいっちょけ ほけおけ そこに置け
ほけだし 憂さ晴らし 気晴らし 気分転換
ポケツ **pocket** ポケット
ほけつく ほけづく【惚ける 呆ける】 馬鹿騒ぎする
ほげる 穴が開く 通りが良くなる

ほげん その通り そうだ《佐伊津 五和》
ほげんいうたっちゃ そう言っても《佐伊津》
ほげんごたる 惚けているようだ 放心している
ほげんた その通りだ そうだね ②そんなのは《佐伊津 五和》
ほげんたつ〈湯気〉steam 湯気が上がる
ほご 太陽熱 灼熱 熱射 熱気 熱風 「ほゴンひどか」
ほごにする【反古】 書き捨てた紙 ②不要扱い
ほこば【其処を】 [そ]の転音
ほこりんたつ ほこんノたつ〈埃〉dust 埃が舞う
ほこる 生い茂る 繁茂する《京》
ほこる 古語【誇る】 自慢する 得意になる ②勃起する《日ポ》
ほこるる《日ポ》 ほこれる 古語【綻ぶ】 縫目が解ける
ほこれ 古語【綻び】 縫目が裂けたもの
ぼさ ぼさくれ ぼんやりした人 ②髪 of 乱れた人
ほさぎ〈火先木〉 火先を掻き回す棒
ほざく 近世語【ほざく】 人が[言う]の卑語 ぬかす《京》
ほざくる《日ポ》 ほじゃくる ほじゃける 潤びる ふやける
ぼさぼさ〔擬態音〕 乱れた髪 ②ぼんやりしている様
ぼし【帽子】cap hat (長音短呼)
ほしいままに ほしかしこ 古語【恣に】 望み通り
ほしか 煮干し 熬りこ《京》
ほしか【欲しい】want 所望する desire
ほじくつつらかす ほじつつらかす 矢鱈に掘り出す 詮索
ほじくる ほじる〈穿る〉dig 土を掻き出す 穴を掘る ②詮索する 探る
ほじけた【解けた】 縫目や網目が解けた
ほしばれとる【星晴れ】 晴天の星空
ほしゅうしてたまらん …のさん 欲しくてたまらない
ほしゅうなか 欲しくない 望まない
ぼすぼす 思い切る ②貫き刺す ずばずば ずけずけ
ほせー ほそか【細い】slender
ほぞ 古語【柄】 木材の接合部分の凸起 雄器《京》
ほぞ【臍】navel 臍 ②果実の蒂
ほぞかむ【臍噛む】 後悔する remorse
ほそびき 細繩 麻紐 《日ポ・京》
ぼそぼそ 小声で話す ②ゆっくり ③乾涸らびた食べ物
ほたえる ほたゆる 近世語【ほたゆ】戯れる 暴れる 騒ぐ 巫山戯る 戯ける《京》
ほたぎ 古語【櫓木】chip パルプ用木片 ②焚き木《日ポ》
ほたくっだす ほたっだす ほたりだす【放り出す】
ほたくりやる ほたりやる【放り散らす】 跳ねやる 投げ遣る
ほたくる ほたる 古語【放る】throw 放り散らす 投げ遣る

ほたくんな ほたんな 放り散らすな
ほたじる 鳥が蹴爪などで土を掻き出す
ほたっちらかす ほたっつらかす【放り散らす】 乱雑にする
ぽたぽた〔擬態音〕 水滴が続けて落ちる
ぽたもち【牡丹餅】 粒小豆で包んだ餅団子
ほたゆる 近世語【ほたゆ】 戯れる joke 騒ぐ 巫山戯る 戯ける《京》
ほたゆんな 戯れるな 暴れるな 騒動するな
ほだら ほだれ 古語【連連】 氷柱 垂氷《大矢野 有明》
ほたる 古語【放る】 throw 放り散らす 放り遣る
ボタン 《ポルトガル語》 botão 釦 ボタン button
ぼたんなべ【牡丹鍋】 獅子鍋（猪肉）
ぼちぼち ぼつぼつ〔擬態音〕 急がず ゆっくり 気長に《京》
ぼちぼちせろな ぼちぼちせろん ぼちぼちやんなっせ 気長にやれよ
ほちよ ほちょう【包丁】（長音短呼）《竜ヶ岳》
ほっくらーと ほっこらーと ほくほく 温かく柔らかい
ほっけん ほっで ほりけん そうだから ですから〔そ〕の転音
ほっこくなめにあう ひどいめに遭う
ぼっこみ 近世語【打込む】 込みで 一緒に含める
ほっしゃする ほっせー 古語【欲す】 欲しがる《日ポ》
ほっじゃあろー ほっじゃあろーば それではまた〔そ〕の転音
ほっじゃどい ほっじゃどーし それではだめだ〔そ〕の転音
ほっじゃば そうだが そうだけど《下浦 新和》
ぼったくる ぼる 暴利を貪る《京》
ほっだしもん ほりだしもん【掘り出し物】 思い掛けない見つけ物
ほったつる ほったてる 四つん這いで尻を高くする
ほったてごや 柱を地中に埋めて建てた小屋
ほったらかす《京》ほっちらかす ほっつらかす 放り散らす
ほったらきゃーて ほっつらけーて 散らかして ②構わないで
ほっちゃにゃー ほっちゃまー それでもねー〔そ〕の転音
ぼっつあま お坊さん
ほっつきまわる 彷徨う wander うろつく
ほっつくな 彷徨するな うろつくな
ぼっつらぼっつら ぼつぼつ そろそろ ゆっくり 気長に
ほっでか そうだから
ほっでさい ほっでたー ほっでわい それでだよ だからだよ〔そ〕の転音
ほっとけ 放っておけ 構うな 関わるな《京》
ほっばらかす 放任する 構わない
ほっぺた【頬】 cheek 《京》
ぼつぼつ 急がず ゆっくり 気長に
ほっぼりだす【放り出す】 放棄する

ほつるる ほつれる 古語【^{ほころ}綻びる】rip 縫目や網物が解ける
ほつれ 古語【^{ほころ}綻び】 縫目や網物が解けたもの
ほて一た ほてた 解いた 解体した
ほてる ほでる 古語【^{ほて}火照る】 暑く感じる 皮膚が焼けて痛む 熱る・^{いき}熾る
ほど 古語【程】 分際 social position 分限 ②体格
ぼと 何枚も重ね縫いした着物 防寒着 ②寝具
ぼと ぼとねこ 牡猫
…ほどき …稼ぎ 「錢ほどき」
…ほどき …しながら 中途半端 「あすびほどき」
ほときさま ほときさん【仏様】《京》
ほとく【解く】 解きほぐす もつれや縫物を解く《日ポ》
ほとくら【^{ふところ}懐】 懐中 胸の内側 ②金回り 所持金
ほとくりゃいるる ほとくれーいるる 懐に入れる
ほとくる ほどくる【解ける】 縫目や結び目が解ける
ほどし 程度 する程 する位
ほとばしってでくる 古語【^{ほとばし}迸る】 勢い良く飛び出る
ほとびらかす【潤ぶ】 ふやけさせる 水で膨張させる
ほとびる《京》 ほとぶる ほとべる 古語【潤ぶ】 水を含んでふやける
ほとほと つくづく よくよく ②非常に 入念に
ほどほど【程々】 適度 適當 度を越さない程度
ほとぼり 余熱 ②人々の関心事 ③感情のしこり
ほとめく 潤う be moistuer 充足する ②持て成す
ほどゆう【程良く】 調度良く 都合良く
ほどゆうしとけ 丁重に待遇しろ
ほどんふとか 体格が大きい 背が高い
ほねがましか 小骨が多い(魚)
ほねぐうどる ^{たきぎ}薪 太い薪 ②骨格が頑丈
ほねごまか 骨格が貧弱 小柄 痩せている
ほねなし 気骨がない人 根性無し《京》
ほねぶとか 骨格が頑丈 体格がよい 胆太い
ほねぼねしか 骨々しい 痩せている
ほねやすみ ほねやすめ【骨休み】 休息日 農休日
ほねやみ【骨病み】 過労で病む
ほノよか【符】 運が良い lucky 恵まれている〔ふ〕の転音
ほびゃ【朋輩／傍輩】 友達 親友 同僚
ぼぼ 性交 intercourse 交接 交合 交尾 種付け
ほむる 古語【^{ほむ}誉む 褒む】 誉め称える admire《日ポ》
ほめきようでござす 蒸しますね (挨拶ことば)
ほめく 古語【^{ほめ}火めく】 蒸し暑い 熱る・熾る《日ポ・京》
ほめそやす【^{ほめ}誉め称す】 褒めちぎる 矢鱈に褒める

ほや【火屋】 ランプの炎を覆うガラス製の筒 ランプカバー
ほや 脱穀した後の穀物の殻
ぼや 大事に至らない火事
ぼやーっと ぼやっと ぼやぼや ぼんやり 気が利かない
ぼやく 残念がって小言を言う 不平不満を言う《京》
ぼやくる【暈ける】 惚ける はっきりしない
ほやけ【火烧け】 赤痣《日ボ》 黒子
ほやちーとる ほやつく 蒸かし立てでほくほくしている様
ほゆる 古語【吠ゆ】 吠える 獣の声 ②怒鳴る ③泣く
ほらふき【法螺吹き】 自慢話をする人
ほり ほりー ほる ほれ それ〔そ〕の転音
ほりから ほりかる それから〔そ〕の転音
ほりきり ほりぎり それきり その時限り〔そ〕の転音
ほりくりかやす 掘り返す 埋めてある物を掘り出す
ほりけん そうだから ですから〔そ〕の転音
ほりで ほれーで それで そうだから〔そ〕の転音
ほりば ほるば それを その物を その人を〔そ〕の転音
ほりばって ほるばって そうだけど〔そ〕の転音
ほりゃ ほらー ほれ ほら そら それ
ほりゃーあって それはつまり しかし だけど〔そ〕の転音
ほりゃみろ ほれ見なさい 言わない事じゃない
ほるば それを その人を《有明》
ほるる【惚れる】 恋する 好きになる 異性を好きになる
ほれくうだ ほれこうだ【惚れ込んだ】 すっかり好きになった
ぼろ【襤褸】 rag 着古し 破れた布 ②失策 欠点
ほろか 脆い 壊れ易い
ぼろくそ【襤褸糞】 値打ちの無いもの こてんこてん《京》
ぼろくっちょ ぼろくぞ ぼろくだ《牛深》首筋 首根っこ
ぼろぼろ〔擬態音〕 酷く傷んだ様子 ②粘りけがない ③こぼれ落ちる
ぼろぼろ〔擬態音〕 こぼれ落ちる 剥がれ落ちる
ぼろもうけ 非常に多く儲ける 勞せず儲ける《京》
ほん《京》 ほんなこつ ほんなこて 本当 truth
ぼん【坊や】 男児 《京》《御所浦》
ほんかな ほんにな ほんな 本当ですか
ぼんがら ぼんぎり 竹筒
ぼんぎり お盆限り 盆まで 半年間 ②季節労働
ぼんくら ぼんくらあたま【盆暗】 知恵無し まぬけ
ぼんくれ【盆暮れ】 盆と年末 借金返済のけじめ時
ほんけがえり ほんけがやり【本卦還り】 還曆
ほんこし【本腰】 本気 真剣な心構え

ほんしょうに【本性】 nature 本気で 真面目に《牛深》
ポンシン 《スペイン語》 poncho 袖無しの綿入れ上着 vest
ポンス ポンズ 《オランダ語》 pons ポン酢 柑橘系の酢
ほんちょ【本当】 truth 《竜ヶ岳》
ぼんちょうちん【盆提灯】 初盆に贈る提灯
ほんてー ほんに ほんなこて 本当に 真に 正に
ぼんでー【盆礼】 お盆のご挨拶 ②お中元
ほんどー ほんどにー ほんときゃー ほんどけ 本当ですか
ほんどじゃか ほんどじゃなか 本当でない ②体調が思わしくない
ぼんどん〈盆殿〉 盆（事象敬語）
ほんなー ほんね ほんなこっか ほんなこつな 本当ですか
ほんなーり ほんなりー そのままで
ほんなこつ ほんなこて 本当に
ほんなもん ほんまもん【本物】 本来の物 本調子
ほんなもんじゃか ほんなもんじゃなか 本調子でない 本来でない
ほんなら《京》 ほんなれー ほんなるー それでは
ほんになー ほんにねー 本当ですか そうですか
ぼんのう 古語【煩惱】《梵語》 心身を迷わす欲望や迷い
[ぼんのくぼ](#) 古語【盆の窪】 後頭部の窪み《京》
ぼんばたらき 盆に働くことを嘲ることば
ほんばえ ほんばなー 本当ですよ
ポンプ 《オランダ語》 pomp 井戸ポンプ戻る
ぼんべー バイ科の貝 バイ貝《佐伊津》
ぼんぼや 鬼火焼き 左義長
ぼんぼん お腹（幼児語）
ぼんゆう【朋友】 友達 友人 親友 幼馴染み《中国語》

 [トップページへ戻る](#)